

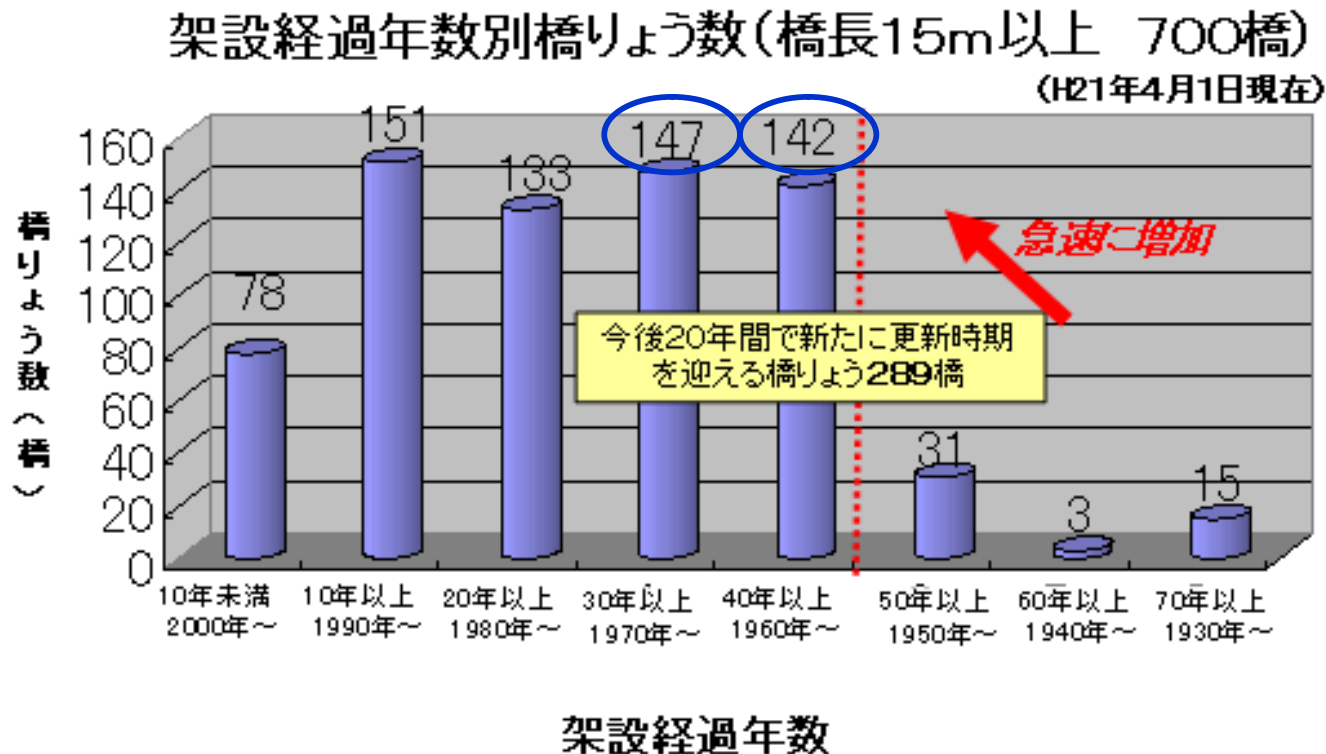
鳥取県道路橋りょう長寿命化修繕計画

平成21年11月

道路企画課

今後予測される橋りょうの維持管理コスト増大

鳥取県の管理する道路橋は、700橋(橋長 15m以上) H21.4.1現在
今後、**急激**に大量の橋梁が更新時期(50年)を迎える。



将来にわたって安全性・信頼性を確保するための取組が重要

橋りょうマネジメントへの取組

学識経験者等による検討会を設置

- 1) 「鳥取県道路橋りょう点検マニュアル」の策定(H19.3)
- 2) 「鳥取県長寿命化修繕計画」を策定(H21.11)

平成19年度よりマニュアルに基づく定期点検を実施(5年毎)
点検は職員による目視点検を原則とする。

→ 損傷状況を詳細に把握

学識経験者等による検討会



カメラによる点検



職員による目視点検

橋りょうマネジメントの基本方針

【従来型】対処型修繕

損傷が大きくなってから修繕を実施

大規模な修繕が必要

事業費大

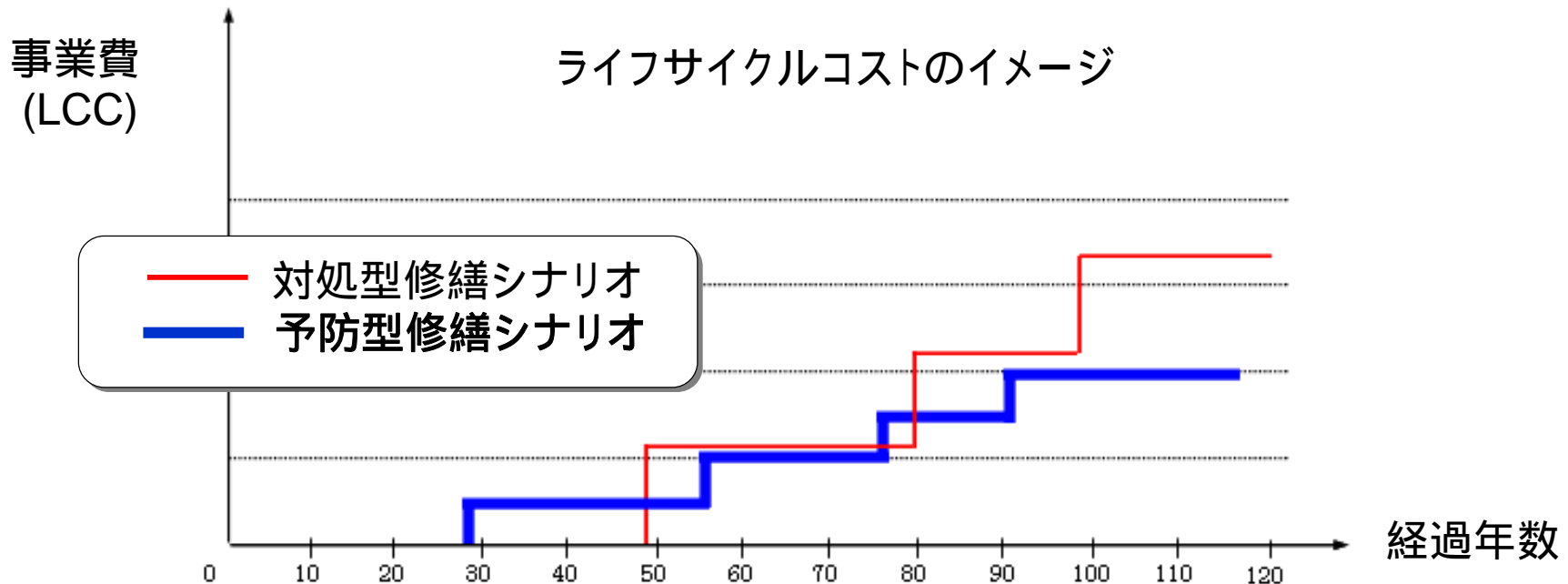
方針転換

【今後は】予防型修繕

損傷が大きくなるまえに修繕を実施

小規模な修繕でOK

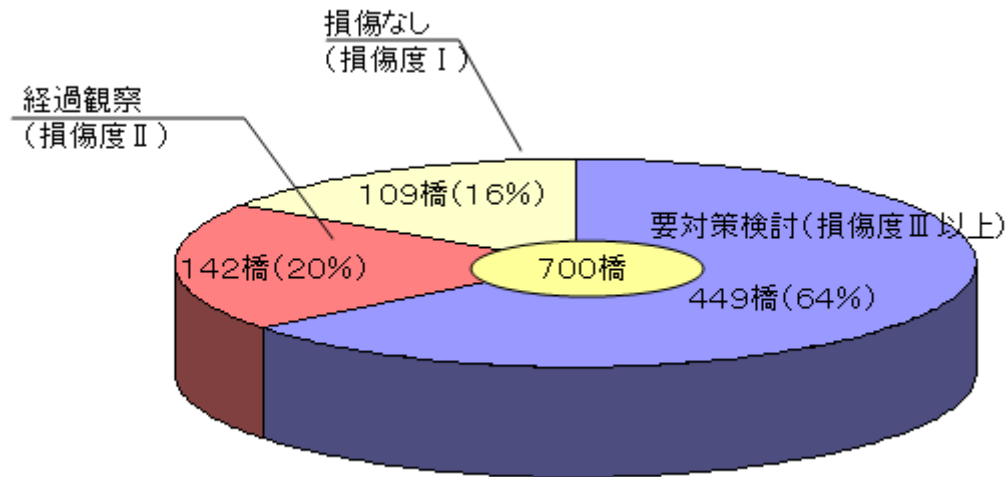
事業費小



15m以上橋りょうの定期点検結果

700橋の点検を実施。

全体の64%にあたる449橋に修繕が必要と判明



主桁の損傷



橋脚のひび割れ

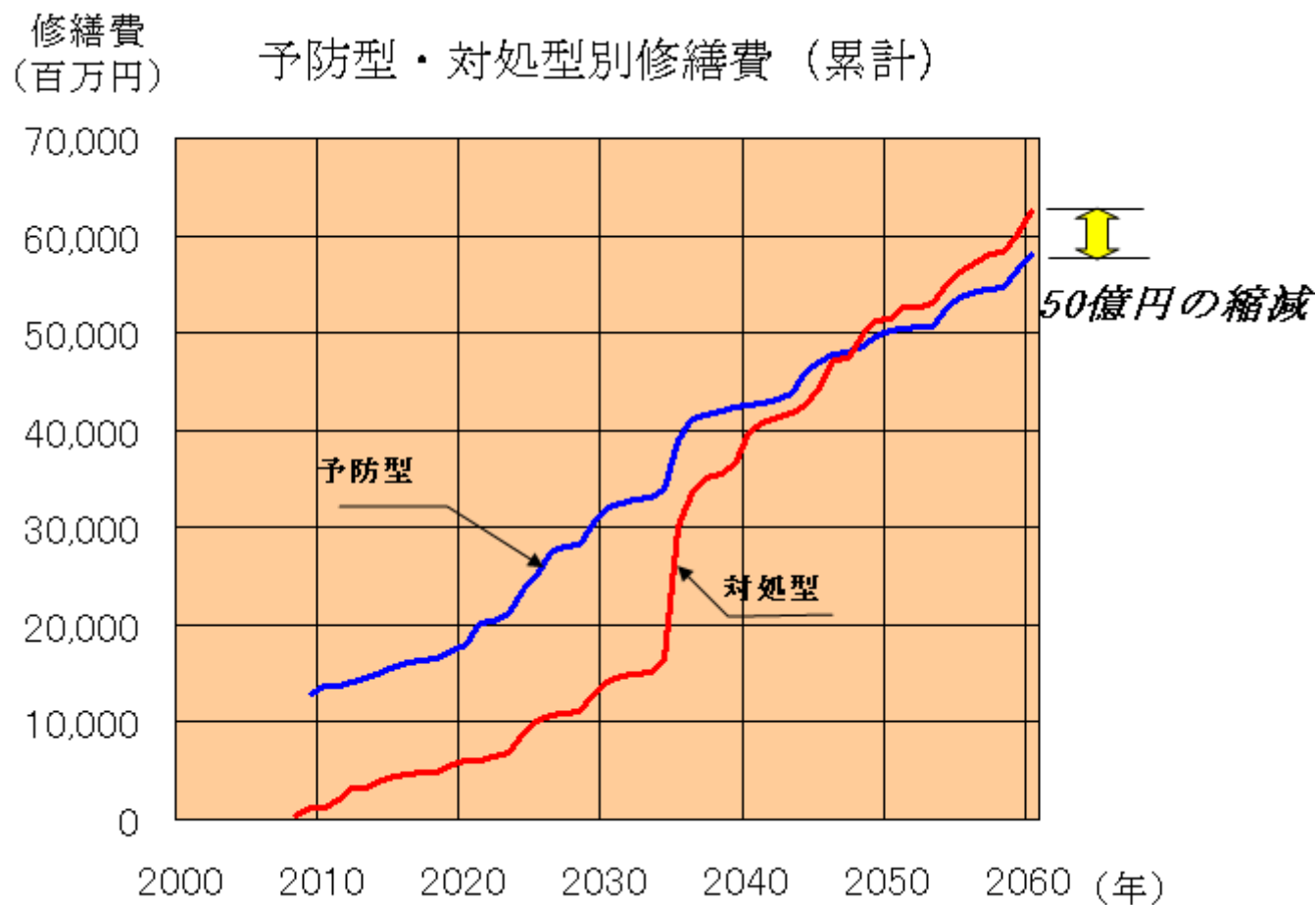


監査路の腐食・破断



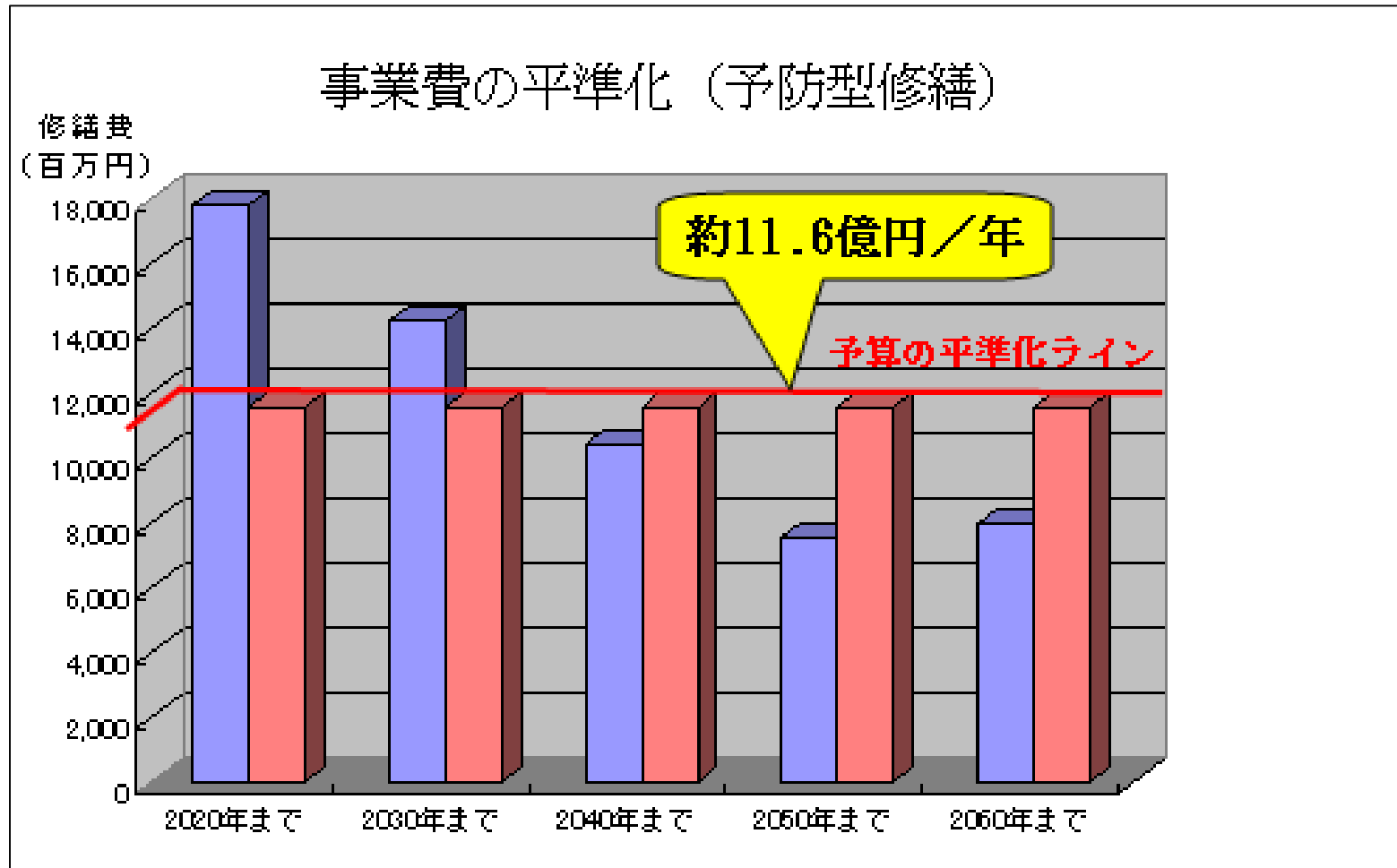
長寿命化修繕計画の策定

マネジメントにより、橋梁の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減
予防型修繕により、今後50年間で**総額50億円の修繕費を縮減**



事業費の平準化

今後50年間に必要な事業費を平準化すると年間で約11.6億円の修繕費が必要



今後の取り組みについて

1. 1.5m未満の橋りょうについても、定期点検を実施し、健全度の把握を行う。
2. 点検結果を分析・解析し、より精度の高い「長寿命化修繕計画」とする。